

依頼者 株式会社 オーエスユー

検体名 銀イオン水
銀分散セラミック®レット20個入り

検体採取時刻 2005年(平成17年)03月31日 15時18分
 検体採取場所 大阪産業大学 新産業研究開発センター
 検体採取者氏名 丸尾淳平
 検体採取者所属 株式会社 オーエスユー 未来技術研究所

財団法人

日本食品分析センター

東京本部 〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町52番1号
 大阪支所 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町3番1号
 名古屋支所 〒460-0011 名古屋市中区大須4丁目5番13号
 九州支所 〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1番12号
 多摩研究所 〒206-0025 東京都多摩市永山6丁目11番10号
 千歳研究所 〒066-0052 北海道千歳市文京2丁目3番

2005年(平成17年)04月04日 当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	基準	結果	検出限界	注	方法
一般細菌	集落数100以下/ml	30以下/ml		1	1
大腸菌	検出されない	検出せず		1	2
カドミウム及びその化合物	0.01 mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L	1	3
水銀及びその化合物	0.0005 mg/L以下	検出せず	0.0001 mg/L	1	4
セレン及びその化合物	0.01 mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L	1	5
鉛及びその化合物	0.01 mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L	1	6
ヒ素及びその化合物	0.01 mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L	1	5
六価クロム化合物	0.05 mg/L以下	検出せず	0.005 mg/L	1	3
シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01 mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L	1	7
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10 mg/L以下	0.8 mg/L		1	8
フッ素及びその化合物	0.8 mg/L以下	0.10 mg/L		1	8
砒素及びその化合物	1.0 mg/L以下	検出せず	0.1 mg/L	1	3
四塩化炭素	0.002 mg/L以下	検出せず	0.0002 mg/L	1	9
1,4-ジクロロベンゼン	0.05 mg/L以下	検出せず	0.005 mg/L	1	10
1,1-ジクロロエチレン	0.02 mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L	1	9
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L	1	9
ジクロロメタン	0.02 mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L	1	9
トクロロエチレン	0.01 mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L	1	9
トリクロロエチレン	0.03 mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L	1	9
ベンゼン	0.01 mg/L以下	検出せず	0.001 mg/L	1	9
クロロ酢酸	0.02 mg/L以下	検出せず	0.01 mg/L	1	11
クロロホルム	0.06 mg/L以下	0.003 mg/L		1	9
ジクロロ酢酸	0.04 mg/L以下	検出せず	0.004 mg/L	1	11
ジブromクロロメタン	0.1 mg/L以下	0.005 mg/L		1	9
臭素酸	0.01 mg/L以下	0.003 mg/L		1	12
総トリハロメタン(クロロホルム, ジブromクロロメタン, ブromジクロロメタン及びブromホルムのそれぞれの濃度の総和)	0.1 mg/L以下	0.014 mg/L		1	9
トリクロロ酢酸	0.2 mg/L以下	検出せず	0.02 mg/L	1	11
ブromジクロロメタン	0.03 mg/L以下	0.005 mg/L		1	9
ブromホルム	0.09 mg/L以下	0.001 mg/L		1	9
ホルムアルデヒド	0.08 mg/L以下	0.002 mg/L		1	13
亜鉛及びその化合物	1.0 mg/L以下	検出せず	0.005 mg/L	1	3
アルミニウム及びその化合物	0.2 mg/L以下	検出せず	0.02 mg/L	1	3
鉄及びその化合物	0.3 mg/L以下	検出せず	0.03 mg/L	1	3
銅及びその化合物	1.0 mg/L以下	検出せず	0.01 mg/L	1	3
ナトリウム及びその化合物	200 mg/L以下	13 mg/L		1	3

依頼者 株式会社 オーエスユー

検体名 銀イオン水
銀分散セラミック® レット20個入り

検体採取時刻 2005年(平成17年)03月31日 15時18分
検体採取場所 大阪産業大学 新産業研究開発センター
検体採取者氏名 丸尾淳平
検体採取者所属 株式会社 オーエスユー 未来技術研究所

財団法人

日本食品分析センター

東京本部 〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町52番1号
大阪支所 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町3番1号
名古屋支所 〒460-0011 名古屋市中区大須4丁目5番13号
九州支所 〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1番12号
多摩研究所 〒206-0025 東京都多摩市永山6丁目11番10号
千歳研究所 〒066-0052 北海道千歳市文京2丁目3番

2005年(平成17年)04月04日 当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分析試験項目	基準	結果	検出限界	注	方法
マンガン及びその化合物	0.05 mg/L以下	検出せず	0.005 mg/L	1	3
塩化物イオン	200 mg/L以下	15 mg/L		1	8
カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300 mg/L以下	43 mg/L		1	14
蒸発残留物	500 mg/L以下	86 mg/L		1	15
陰イオン界面活性剤	0.2 mg/L以下	検出せず	0.02 mg/L	1	7
ジエオキシ	0.00001 mg/L以下	検出せず	0.000002 mg/L	1	9
2-メチルイソボルネオール	0.00001 mg/L以下	検出せず	0.000002 mg/L	1	9
非イオン界面活性剤	0.02 mg/L以下	検出せず	0.005 mg/L	1	16
フェノール類	0.005 mg/L以下	検出せず	0.005 mg/L	1	7
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	5 mg/L以下	0.9 mg/L		1	17
pH値	5.8以上8.6以下	7.5(20℃)		1	18
味	異常でない	異常なし		1	19
臭気	異常でない	異常なし		1	19
色度	5度以下	1度以下		1	20
濁度	2度以下	1度以下		1	21

判定 : 50項目について水道法水質基準に適合。 試験検査責任者 川口 寿之

(セラミックを除いて試験した。)

注1. 水質基準に関する省令(平成15年厚生労働省令第101号)によった。

- | | |
|----------------------------------|--------------------------------|
| 方法1. 標準寒天培地法 | 方法2. 特定酵素基質培地法 |
| 方法3. 誘導結合プラズマ発光分光分析法 | 方法4. 還元気化-原子吸光光度法 |
| 方法5. 水素化物発生-原子吸光光度法 | 方法6. 誘導結合プラズマ質量分析法 |
| 方法7. 流路型吸光光度法 | 方法8. イオンクロマトグラフィー法 |
| 方法9. ハジ-ジ-トランプ-ガスクロマトグラフィー質量分析法 | 方法10. 固相抽出-ガスクロマトグラフィー質量分析法 |
| 方法11. 溶媒抽出-ガスクロマトグラフィー質量分析法 | 方法12. イオンクロマトグラフィー-ポストカラム吸光光度法 |
| 方法13. 溶媒抽出-誘導体化-ガスクロマトグラフィー質量分析法 | 方法14. 滴定法 |
| 方法15. 重量法 | 方法16. 固相抽出-吸光光度法 |
| 方法17. 全有機炭素計測定法 | 方法18. ガラス電極法 |
| 方法19. 官能法 | 方法20. 比色法 |
| 方法21. 比濁法 | |

以上